

PROGRAM

NO. 68

NFAJプログラム
2025年8月発行

SILENT FILM DAYS 2025

サイレントシネマ・デイズ 2025

2025

11.25[火] - 30[日]

国立映画アーカイブ
長瀬記念ホール OZU[2階]

定員=299名(各回入替制・全席指定席)
各回の開映後の入場はできません

主催：国立映画アーカイブ
協力：株式会社 橋本ピアノ



長瀬記念ホール OZU
上映作品サイレントシネマ・デイズ 2025
Silent Film Days 2025

世界各地で開催されている無声映画祭と同様に、生演奏や弁士の説明を付けて無声映画を上映する企画。今回は国立映画アーカイブとドイツキネマテークの共同復元プロジェクト(2018-20)によって鮮やかに甦った『除夜の悲劇』(1924)デジタル復元・最長版の国内初上映をはじめ、生誕150年を迎えたD・W・グリフィスの『大疑問』(1919)や、近年新たに収蔵した齋藤寅次郎の『明け行く空』(1929)など無声映画史上の傑作を揃え、6プログラム6作品を上映します。

I 11/25(火)19:00 11/29(土)13:00 ▶

大疑問 (81分・18fps・35mm・無声・白黒)

The Greatest Question

母を亡くし天涯孤独となったネリー (ギッシュ)は、優しい家族に引き取られて穏やかに過ごす。やがて近所の家でメイドとして働くことになるが、その家はネリーのトラウマと関係していた。ギッシュの可憐な魅力が横溢する一作。

1919(米:グリフィス社)◎D・W・グリフィス◎ウィリアム・ヘイル◎スター・E・V・テイラー◎G・W・ピッツァー◎リリアン・ギッシュ、ロバート・ハロン、ラルフ・グレイヴス

2 11/26(水)19:00 ※ 11/30(日)16:00 ▶

除夜の悲劇 [デジタル復元・最長版]

(59分・DCP・無声・染色)

Sylvester - Tragödie einer Nacht

登場人物のしぐさや表情の変化を丹念に捉えることで映像表現の可能性を追求した無字幕の「室内劇映画」。当館が所蔵する最も完全に近い版(小宮登美次郎コレクション)を主素材として、欠落を他の複数のフィルム素材で補った、ドイツキネマテークとの共同復元版を上映。

1924(独:レックス・フィルム)◎ルプ・ビック◎カール・マイヤー◎カール・ハッセルマン、グイド・ゼーバー◎クラウス・リヒター◎エディット・ポスカ、オイゲン・クレッパー、フリーダ・リヒャルト

※印の回は、クラウス・プリングスハイムが封切りに作曲したオリジナルスコアを、MDR交響楽団の演奏によって再現・収録したDCPでの上映です。上映前には、当館館長・岡島尚志による解説(約20分)があります。

▶ チケット購入方法

	一般	高校・大学生・65歳以上	小・中学生	障害者手帳をお持ちの方(付添者1名まで)	キャンパスメンバーズ(教職員)	キャンパスメンバーズ(学生)
通常料金	520円	310円	100円	無料		
特別料金 (★印▶印の回)	1,050円	840円	600円	無料	500円	400円
オンライン販売	各上映日の3日前正午から各上映回の開映15分前まで					
窓口販売	各上映回の開映1時間前から5分前まで若干数販売					

- * 電子チケットは、当館HPよりオンライン販売します。
- * 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。
- * 学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、国立美術館のキャンパスメンバーズは証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。
- * 未就学児、優待の方は「障害者手帳をお持ちの方または付添者等券」をお求めください。

3 11/28(金)15:00 11/30(日)13:00 ▶

ヴァリエテ (112分・18fps・35mm・無声・白黒)

Variété

E・A・デュボンの名を世界に知らしめたドイツ無声映画の代表作。かつて花形だった中年の綱渡り曲芸師が若い娘の出現によって人生を変転させてゆく。ムルナウ作品などで活躍したカール・フロイントの撮影が出色。

1925(独:ウーファ)◎◎エヴァルト・アンドレ・デュボン◎フェリクス・ホルンダー◎レオ・ビリンスキ◎カール・フロイント◎オスカー・フリードリヒ・ヴェルドルフ◎エミール・ヤニングス、リア・デ・ブッティ、マリー・デルシャフト

4 11/26(水)15:00 11/28(金)19:00 ★

明け行く空

(78分・18fps・35mm・無声・白黒) NEW

少女雑誌連載小説を、後に自身も少女小説の作家となる水島あやめが脚色。シリアスな母娘ものだが、随所に齋藤寅次郎らしいユーモアも見受けられる。母を知らずに育った少女・玲子(高尾)は、ある日村に赴任してきた牧師(川田)を母のように慕うが…。

1929(松竹キネマ蒲田)◎齋藤寅次郎◎新井睦子◎水島あやめ◎武富善雄◎水谷浩◎川田芳子、高尾光子、河村黎吉

5 11/27(木)15:00 11/29(土)19:00 ▶

燈台守 (74分・20fps・35mm・無声・染色)

Gardiens de phare

孤島の燈台守として働く親子。息子が狂大病に侵されたために訪れる悲劇を、名匠グレモンが幻想的なタッチで描く。日本で発見された染色版(小宮登美次郎コレクション)の復元プリントを上映。

1929(仏:ソシエテ・デ・フィルム・デュ・グラン・ギニョール)◎ジャン・グレモン◎ポール・オーティエ、ポール・クロクモン◎ジャック・フェデー◎ジョルジュ・ベリナール、ジャン・ジュアヌト◎アンドレ・バルザック◎ポール・フロメ、ジェモン・ヴィタル、ジェニカ・アタナジウ

6 11/25(火)15:00 11/27(木)18:30 ▶

月世界の女 (147分・20fps・35mm・無声・白黒・英語インタータイトル/日本語字幕付)

Frau im Mond

フリッツ・ラング最後の無声映画。宇宙探査を科学的な裏付けを元に再現した画期的で壮大なSF映画である一方、月面の大金鉱をめぐる間諜や攻防、恋の三角関係が交錯し、人間の欲望と葛藤が描かれる。

1929(独:フリッツ・ラング・フィルム=ウーファ)◎フリッツ・ラング◎デア・フォン・ハルボウ◎クルー、オスカー・フィッシャー、オットー・カントレク、コンスタンティン・チェット◎エミール・ハスラー、オットー・フンテ、カール・フォルブレヒト◎ゲルダ・マウルス、ヴィリ・フリッシュ、クラウス・ボール、フリッツ・ラスプ

▶ 入場方法

- * 開場は開映30分前です。
- * チケットのQRコードをスマホ画面、または印刷紙面でご提示ください。特集名、作品名は表示されませんので、お間違いないようご注意ください。
- * 各回の開映後の入場はできません。予告篇はございません。

11月	25	15:00	⑥ 月世界の女 (147分)	19:00	① 大疑問 (81分)
	26	15:00	④ 明け行く空 (78分)	19:00	② 除夜の悲劇 [デジタル復元・最長版] ※ (59分)
	27	15:00	⑤ 燈台守 (74分)	18:30	⑥ 月世界の女 ▶ 天地穂高 (147分)
	28	15:00	③ ヴァリエテ (112分)	19:00	④ 明け行く空 ★ 佐々木亜希子、永田雅代 (78分)
	29	13:00	① 大疑問 ▶ 柳下美恵 (81分)	19:00	⑤ 燈台守 ▶ Phew (74分)
	30	13:00	③ ヴァリエテ ▶ 上屋安由美 (112分)	16:00	② 除夜の悲劇 [デジタル復元・最長版] ▶ 長谷川慶岳 (59分)

- ◎=監督・演出 ◎=原作・原案 ◎=脚本・脚色 ◎=撮影 ◎=美術 ◎=出演
- 外国映画には、すべて日本語字幕が付いています。
- 上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。
- ★印の回は弁士・伴奏付上映、▶印の回は伴奏付上映です。

弁士・伴奏付上映出演者

佐々木亜希子(ささき・あきこ)/活動写真弁士

山形県酒田市出身。NHK山形放送局でニュースキャスターを務めた後、2001年より活動写真弁士として全国各地の映画祭や上映会、学校公演等に出演。300作以上のレパートリーを持ち、年間約100ステージ以上行う。現在最も活躍する活動写真弁士の一人。



永田雅代(ながた・まさよ)/ピアノ

鹿児島県出身。演歌などの多種多様なジャンルのアーティストと共演。CD制作、プロデューサーも多数。無声映画の楽士として弁士佐々木亜希子とのコンビは20年、500公演以上で共演している。幅広いジャンルの音楽と作品理解に基づいた即興演奏は定評がある。



伴奏付上映出演者 [出演順]

天地穂高(あまいけ・ほだか)/ピアノ

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。2003年、フィルムセンター(現・国立映画アーカイブ)の特集「小津安二郎の藝術」にて、初めてサイレント映画の伴奏を担当。作編曲活動に加えて、バレエのレッスンピアニストとしても活動している。



柳下美恵(やなした・みえ)/ピアノ

武蔵野音楽大学有鍵盤器専修(ピアノ)卒業。1995年、映画生誕百年祭「光の生誕!リュミエール!」以来、国内外の映画館、映画祭で伴奏多数。欧米スタイルの無声映画伴奏(弁士の語りが無い音楽による伴奏)を日本で普及し、「映画館にピアノを!」、「ピアノ&シネマ」、「ピアノ de フィルム」など映画館の上映環境作りに注力している。



Phew(フュー)/電子楽器

伝説のアート・バンク・バンド、アート・サリーの創設メンバーであり、1979年解散後はソロとして活動続ける。2010年代に入り、声と電子音楽を組み合わせた作品を次々に発売し、エレクトロニック・アーティストとしても世界的評価を高めている。



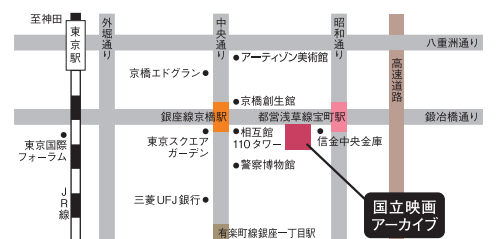
上屋安由美(かみや・あゆみ)/ピアノ

愛知県名古屋出身。桐朋学園大学音楽学部作曲専攻卒業、同大学研究科修了。同大学音楽学部附属子供のための音楽教室ソルフェージュ講師。これまでボルデノー無声映画祭、東京国際映画祭等に出演。ピアノを故・松岡晴子、三輪郁、作曲を三瀬和朗、大家百子の各氏に師事。



長谷川慶岳(はせがわ・よしたか)/ピアノ

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学院修士課程作曲専攻を修了。その後フランスに留学し、パリ・エコール・ノルマル音楽院作曲科にてディプロム・スーペリウールを首席で取得。現在、静岡大学教育学部准教授。作曲や音楽理論を担当している。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600
ホームページ: www.nfaj.go.jp



長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

上映番号 489

表紙: 大疑問